

深層学習を利用した医療危機管理システム開発に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年 7月 4日 ～ 2027年 3月 31日

〔研究課題〕

深層学習を利用した医療危機管理システム開発

〔研究目的〕

損保ジャパン株式会社（SJ社）の保有するクローズドクレーム（法的に決着のついた医療クレーム）を収集・分類・整理して、クローズドクレームデータベースを構築し、それをもとに、人工知能・深層学習を活用して、医療危機管理システムの開発を試みるものです。

〔研究意義〕

国外では、早くから医療事故情報源の一つとして、クローズドクレームが注目されています。一方、国内では、これまでクローズドクレームが活用されることはありませんでした。今回、クローズドクレームデータベースを構築し、それをもとにした医療危機管理システムの開発を行うことで、医療危機管理を通じた医療安全の向上、患者様への安全な医療の提供を目指します。

〔対象・研究方法〕

SJ社が保有する2008年1月から2022年3月までのクローズドクレーム及び今後クローズする全てのクレームを対象とします。過去の資料のうち、既に破棄されているものや資料に欠損があって、データベース化できないものは除外します。これらのクローズドクレームのデータベースを構築し、それを用いて、人工知能・機械学習の技術を活用して、医療危機管理システムの構築を試みます。

〔研究機関名〕

帝京大学医療共通教育研究センター

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報保護法等、法令にのっとり、適正に取り扱います。

研究に関する個人情報の取扱いについてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 大滝 恭弘

職名 教授

所属： 医療共通教育研究センター

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL： 03-3964-1211(代表)〔内線 46472〕